

(1) 令和8年第2回富里市議会定例会一般質問について

〈市長 施政方針〉

◆『公共交通機関推進事業』について

令和4年10月の運行開始から、多くの市民の皆様にご利用いただいているデマンド交通「キャロリン」号については、利用し易い地域公共交通となるよう、適宜、見直しを行いながら進めている。

令和7年4月から令和7年12月末までの利用者数は延べ4万2,760人、令和6年度の同時期との比較で約6.6%の利用者の増と、順調な広がりがみられる一方で、医療機関への通院や商業施設への買い物などで平日の午前中に利用が集中し、予約が取りづらい状況が生じている。

そこで、これまでの運行実績の検証をもとに、令和8年4月の運行から、平日午前中の混雑がみられる時間帯に運行車両を増車し、混雑状況の緩和を図る一方で、人件費や物価高騰の影響を受け、増加が見込まれる運行経費の抑制のため、利用が少ない土・日・祝日の車両を減車し、混雑緩和と経費抑制の両面で効果が得られる運行体系により、デマンド交通の利便性向上に努めていく。

【質問事項】 市長の施政方針について

【質問要旨】 公共交通機関推進事業におけるデマンド交通の令和8年4月からの具体的な借上げ台数の計画と、持続可能な運行のための経費抑制の効果の想定は。

【答弁内容】

次に、公共交通機関推進事業におけるデマンド交通の令和8年4月からの具体的な借上げ台数の計画と、持続可能な運行のための経費抑制の効果の想定は、とのご質問について、借上げ台数の計画については、令和6年4月から、利用に応じた従量制から、利用状況に捉われない1日当たり車両8台の借上げ制とし、利便性の向上と経費抑制を図っている。

一方で、利用者数は、令和7年4月から12月までの間、延べ4万2,760人で、令和6年度の同時期と比較して約6.6パーセントの増加となっており、特に、病院への通院や買い物などで混雑する平日の午前中に予約が取りづらいという利用者の声を多く頂いている。

そこで、これまでのデマンド交通の利用実績に基づき、乗客の乗車から降車までの時間、次の乗客を迎えに行くまでの移動時間と待機時間を含めた

利用者1回当たりの平均所要時間から、1台の車両が1時間に対応することができる稼働回数を算出し、時間帯別、曜日別の利用状況を詳細に検証した結果、平日の午前中は、算出した1時間当たりの稼働回数を超える需要があること、また、土曜、日曜、祝日は、1時間当たりの稼働回数に余裕があることが明らかになった。

これらの結果を踏まえ、運行事業者と協議を重ね、令和7年度まで全ての

日において、1日8台の運行としていたところを1時間当たりの稼働回数と需要に鑑み、病院への通院や買い物などで混雑する平日の午前8時から午後1時までの時間帯を2台増車した10台での運行を計画している。

一方で、利用の少ない土曜日の午前7時から午後1時までは7台、午後1時以降を6台での運行、日曜日と祝日については、終日5台による運行とし、時間帯別、曜日別の需要に適した運行体制を見込んでいる。

次に、持続可能な運行のための経費抑制の効果の想定については、燃料費や人件費の高騰による運行経費の増加により、令和8年度も現状と同様に全ての日を8台で運行した場合には、令和7年度当初予算と比較すると、約3,400万円の増額が見込まれる。

しかしながら、時間帯別、曜日別による需要に応じた車両台数とすることで、約2,700万円の増額に抑えられることから、車両を増減しなかった場合と比較して、約700万円の経費抑制の効果があるものと考えている。

今後も、デマンド交通の利用特性の検証を継続するとともに、地域特性に応じた公共交通機関の利便性向上と持続性の確保に努めていく。

【再質問事項】 市長の施政方針について

【質問要旨】 借上げ方式に転換したことにより、稼働率が重要と考えます。借上げ台数の変更後の各曜日の稼働率の想定は。

【答弁内容】

借上げ台数の変更後の各曜日の稼働率の想定についてのお尋ねについて、令和6年度の利用実績において、利用者の乗車から降車までの時間、次の利用者を迎えに行くまでの移動時間及び待機時間を含めた平均所要時間はおおむね28分であったことから、1台の車両が1時間当たり運行している回数、2.19回を稼働率100%として増便及び減便を予定している。

令和8年度に向けた運行台数の増減を行う各曜日について想定する稼働率でお答えする。

まず、増便する予約が取りづらい午前8時から午後0時台までの曜日別の稼働率について変更前と変更後で申し上げると、月曜日が97.2%から77.7%に、火曜日が115.1%から92.1%に、水曜日が107.0%から85.6%に、木曜日が107.6%から86.1%に、金曜日が117.0%から93.6%になり、稼働率100%を下回ることが想定されるので、予約がしやすい状況に改善されるものと見込んでいる。

一方で、稼働率が低いことから減便を行う土曜日は1日あたり79.7%から91.1%に、日曜日及び祝日は40.0%から64.0%になり、稼働率が上がるものと想定している。